

目標達成計画

作成日: 平成 29年 12月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	認知症が重度化して自分で思いが伝えにくい方の関わりが十分出来ず、その人らしく生活できる支援が出来ていない可能性がある。	利用者の心の中を理解しようとする工夫や努力をする。	①その人を知るマッピングを行い共有する。写真や雑誌など一緒に見ながら利用者の話を聴く。興味のある言葉を引出し、利用者の思いを理解する。会話の中から利用者の思いを引出し、記録に残し、スタッフ間で共有する。	12ヶ月
2				②利用者に定期的にアンケートを行い、その時の思いをそのまま記録に残す。言葉にできない方には表情を観察し記録に残し、スタッフ間で話し合い、その人の思いをスタッフや家族と共有し、その人らしく生活できる支援に繋げる。	12ヶ月
3	10 (18)	本人の意向による日常的な外出支援が出来ている人が少ない。	行きたい所、出掛けたい時に外出できる機会を増やす。	①利用者の思いを受け止め、その時々で最適な方法で外出支援が出来るようにスタッフ間や両ユニットで協力する。利用者からの訴えが無くても行動や表情から気分転換に散歩に出掛ける。	6ヶ月
4	10 (6)	御家族の思いが十分施設に伝わらない事がある。報告したつもりが違うように取り、家族の方に辛い思いをさせたことがある。家族の本当の思いが十分聴けていない。	利用者の情報を共有し、スタッフ間の連携を密にして介護を行う。	①家族の来所時にホームでの様子を伝え、又、電話等でも家族に様子を伝え、安心してもらえるよう信頼関係を作る。 ②ご家族の本当の思いを聞き、信頼関係が密になるように努力する。	6ヶ月
5				③相手の立場に立った声掛け方法など、コミュニケーション能力を高める研修を行う。 ④意見箱を作り、言いにくい事も言葉にしてもらい、内容をスタッフ間で検討し改善する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。